

視聴覚教育

NO 119

発行月 13

発行 岡崎市AVL

編集 集

広報委員会

視聴覚教育機器の

発達と現場の研修

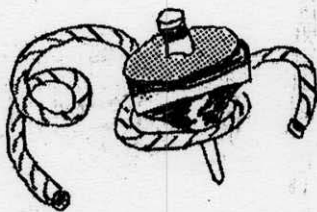
河合 憲一

先日、六ツ美中学校で行われた全市視聴覚主任研修に参加し、夕方さらに最新の教育機器を目のあたりにする機会を得た。会場に展示されたOHP、8ミリビデオ、ビデオプロジェクト、レイザーデスク等どれもみてもすがハイテック国日本の製品である。わずかの間に長足の進歩発達を上げ、いずれも目を自張らせる物ばかりであった。

中でも私の心を捕えたのは、ビデオプロジェクターである。それまで私の見た物は、学校の研究発表会などに登場し、少くとも大人二、三人の力を要する重量と大きさを備え、スクリーンに映る映像は、はなはだ不鮮明で暗いものといった、価格の割には性能の良くない機械づくりのイメージであったので、展示された小

型軽量の実物を見、更にスクリーンに映写された鮮明な映像をつぶさに見るに反んで少なからず驚いた。部屋を暗くする必要のあることが欠点のようであるが、従来の映画と同じである。一人で簡単に運搬、映写できること、ビデオムービーと組めば自作教材映写機として、広範な可能性をもたせることができるなど、映画に替るメディアとして、その活用ははかりしれない。

こうしたすばらしい視聴覚教育用機器の進歩発達の中にありながら、私達の教育現場に浸透するまでにはかなりの時間がかかり、旧態然たる授業のある現状を思うと、少くともこうした最新の機器や情報に触れる機会を多くもち、大勢の先生方に知っていただく必要を強く感ずる。私自身今回のような機会でもなければ、目を見開かれもしなかつたし、新しい機器を活用するアイデアなど生まれもしなかつたと思うからである。教育現場に寄せられる要求も多種多様で、繁忙を極める毎日であるが、ぜひ現場の研修にこのような企画画をとり入れて欲しい。先生方の意識の中にこつこつとした最新の知識や技術が定着することにより、教育の方法についての幅広い選択とより効率の高い授業の実現が望めるものと思っただけである。



四名が特選に!

今回の県自作OHP—TP応募作品数は、三〇六点にのぼり、各郡市から、優秀な作品が集まった。

その中で、岡崎市から次の四名の先生が特選に選ばれた。

大仏づくり——桑木富士子(大樹寺小)

ふとっちょ君の話——福応野子他三名(天作南小)

円周上の点の移動と図形の変化——畔柳善範(美川中)

滑車を使った仕事——後藤昌星(天作北中)

また、入選された方は、一一名で次の先生です。

稲垣幸一(竜美丘小) 高橋啓三(大樹寺小)

浅井真理子(梅園小) 小栗若子(梅園小)

水野順子(細川小) 中村郁夫(男川小)

長島洋子(本宿小国語部)

杉山隆之(常磐中) 田村康則(六ツ美中)

内藤広光(南中) 渡辺総憲(天作北中)

その他、佳作に二二名が入りました。おめでとうございます。

なお、特選作品は、六一年度の二年間県教育サービスセンター

に保管され、貸し出して活用できます(要申し込み)になります。

自作ビデオ・8ミリ映画

6作品が完成

本年度も、現職教育社会科部と視聴覚部自作委員会合同制作によるビデオ教材五本と、八ミリ映画一本、あわせて六本の作品が完成した。

▽本年度の自作ビデオ教材△

「市のつりがわり」 11分30秒 小三社会科

「みど工場をたずねて」 11分46秒 小三社会科

「大水をふせぐ」 10分35秒 小四社会科

「上水道」 10分20秒 小四社会科

「家康と一向一揆」 13分0秒 社会教育

▽8ミリ映画△

「継 承——岡崎の提灯づくり——」

12分57秒 社会教育

今月の教材

○小二社会科自作VTR(昭58)

「ゆづびんきよくではたらく人」

郵便局で働く人が一枚一枚の郵便物に、どうにかかわっているか。どんな仕事を、どのようにしているか。を見る

ことができる。見学の代わりとして、

活用できる。

